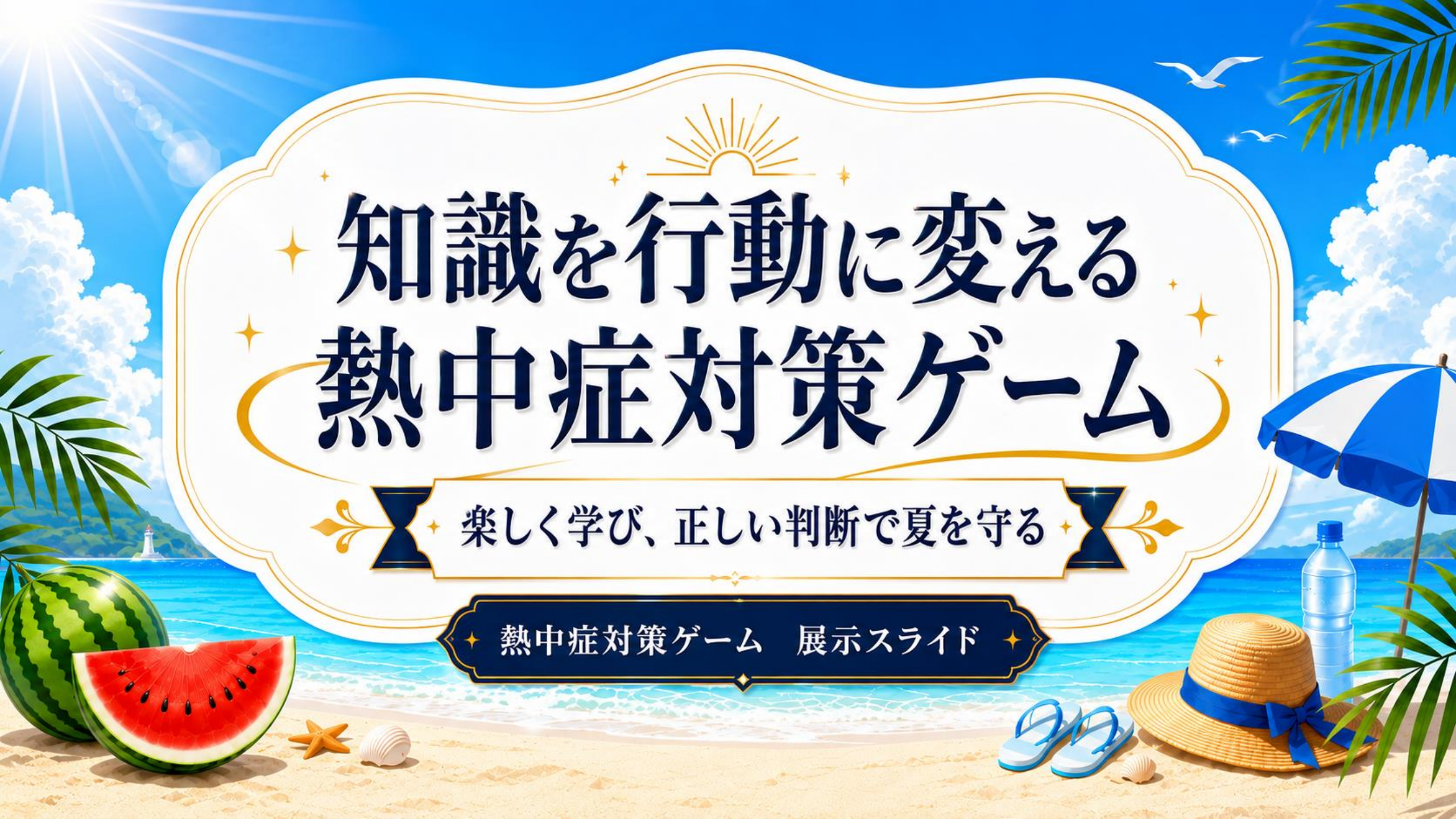




知識を行動に変える 熱中症対策ゲーム

楽しく学び、正しい判断で夏を守る

熱中症対策ゲーム 展示スライド

この活動が始まったきっかけ

≡ ロッテ主催コンテストへの挑戦からスタート ≡

- 1 2026年7月26日に行われた、ロッテ主催のコンテストに参加したことが、この活動の始まりです。
- 2 テーマは『夏の課題を解決するゲームを作る』でした。
- 3 私たちは、知識を持っているだけでは、実際にその場で状況を判断して正しく行動することは難しいと考えました。
- 4 そこで、現状の大きな課題である熱中症について、楽しく学びながら行動につなげられるゲームを作り、多くの人に広めたいと思いました。



知識を、行動に変えるゲームへ



夏にはどのような危険があるか

暑さは「気温」だけでは決まりません

1 強い日差し・照り返し

直射日光や地面からの熱で、体に熱がたまりやすくなる。

2 高い湿度

汗が蒸発しにくくなり、体の熱を外へ逃がしにくくなる。

3 水分不足・休憩不足

汗で水分・塩分が失われると、体温調節がうまく働かず、めまいや集中力低下につながる。

4 体調不良・暑さへの慣れ不足

睡眠不足や疲れ、急に暑くなった日はと危険が高くなる。

室内や車内でも熱中症になることがあります。
「暑い」と感じる前に、環境と体調を確認することが大切です。

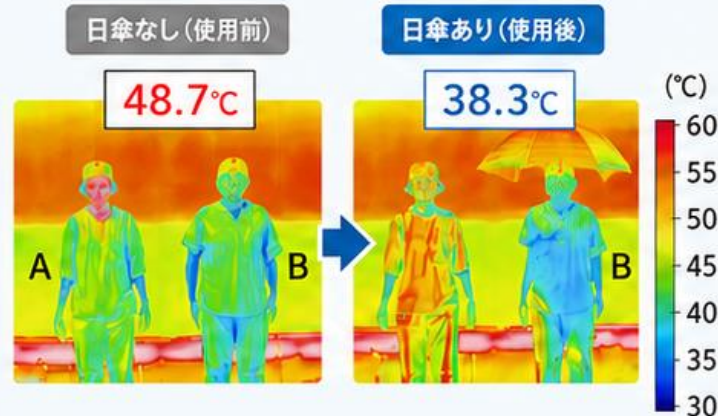
夏は、気温・湿度・日差し・体調などに注意が必要です。

熱中症対策グッズの比較

—— サーモグラフィーで見る、3つの暑さ対策 ——

① 日傘

日傘の有無による表面温度の比較

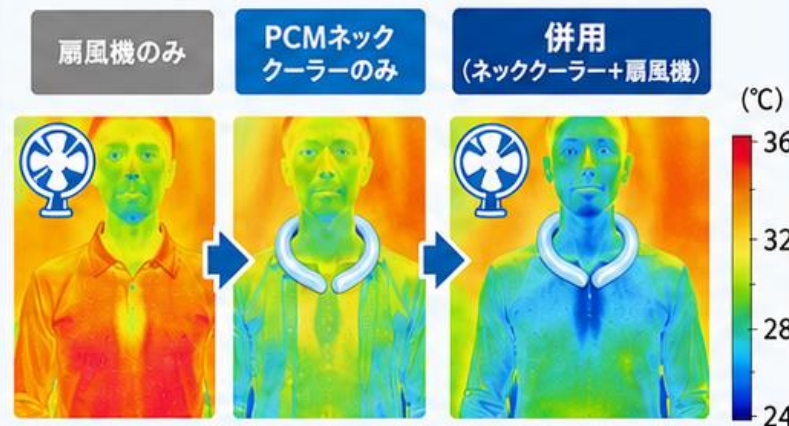


- 日差しをさえぎる
- 頭や体の表面温度の上昇を抑える
- 比較では、日傘なしAは2分後に48.7°C、日傘ありBは38.3°C

※実験条件によって差は変わる

② PCMネッククーラー+扇風機

首元冷却と送風の効果(イメージ)



- 首元を冷やす
- 風で汗の蒸発を助ける
- 併用すると、単体より冷却効果アップ

※リング型PCMネッククーラーを想定

③ 手のひら冷却

手のひら冷却の効果(イメージ)



- 手のひらのAVA血管を冷やす
- 体にたまる熱を逃がしやすくする
- 休憩中のクールダウンに向いている
- 冷たい水に手を入れるのも効果的

※効率的な身体冷却法の一つとして注目



3つの対策は、しくみがちがう!

日差しを防ぐ／首元を冷やす／手のひらから熱を逃がす

どう使い分ける？ 3つの対策のポイント

—— 場面に合わせて選ぶと、より効果的！ ——

	しくみ	おすすめの場面	ポイント
① 日傘 	日差しをさえぎり、頭や体の表面温度の上昇を防ぐ 	 外を歩くとき  待ち時間  屋外イベント	 まず取り入れやすい基本対策
② PCMネッククーラー+扇風機 	首元を冷やし、風で汗の蒸発を助ける 	 通学  移動  屋外活動	 組み合わせると冷却効果アップ
③ 手のひら冷却 	手のひらのAVA血管を冷やして、体にたまる熱を逃がしやすくする 	 休憩中  運動後  待機中	 クールダウン向き

共通して
大切なこと



水分補給



こまめな休憩



無理をしない



グッズは1つだけでなく、組み合わせるとさらに効果的！





WBGTの目安



WBGTの値によって、熱中症の危険度は変わります



WBGT	危険度	目安・行動
31以上	危険	外出や運動はなるべく避ける
28以上31未満	嚴重警戒	激しい運動は中止し、こまめに休憩する
25以上28未満	警戒	運動や作業中は十分な休憩と水分補給をする
21以上25未満	注意	無理をせず、体調の変化に気をつける
21未満	ほぼ安全	水分補給をしながら油断せず活動する

※ WBGTは気温だけでなく、湿度・日差し・風なども含めた暑さの指標です。



気温だけでなく、WBGTも確認して行動することが大切です。



より高い没入感を目指した新たな挑戦

コントローラーの進化 × VR体験 × 3Dモデルで、さらなる没入へ

① Switchコントローラー(ホイール装着)



多くの人々が楽しく学べるように、手軽に使える
Switchコントローラーも接続します。
ここでも没入感を高めるため、ハンドル型のカバーを使用します。

② ステアリングコントローラー



連携して
使用

③ VRヘッドセット



コントローラーの選択肢を拡大

Switchコントローラーを接続することで、より多くの人々が
直感的に操作を楽しめます。初めての人でも、すぐにゲームの
世界に入り込めるような環境を提供します。

ステアリングコントローラー × VRヘッドセットを連携

リアルなハンドル操作と180度の没入感が融合。
まるで実際にゲームに参加しているかのような臨場感を目指します。

VRでの没入感をさらに高めるために 3Dモデルに挑戦

VR空間のクオリティは、没入感を大きく左右します。
よりリアルで魅力的な体験のため、独自の3Dモデル制作にも
挑戦しています。

簡単ではない挑戦ですが、私たちはコンテスト版から“コントローラーを変えるだけ”にとどまりません。
技術と創造力を結集し、より深く、より本物に近いゲーム体験の実現を目指します。

ただ操作方法を変えるだけでなく、
ゲーム体験そのものを進化させる。

学校で行った活動

現在までに行った活動 と 今後の活動予定

現在までに行った活動

- ①  2026年7月26日
LOTTE主催のコンテストに参加
- ②  熱中症対策ゲームで
大賞を獲得
- ③  今回の立教共同
イベントに参加

今後の活動予定

- ①  市内の公立小学校で
授業を行うチャンス
- ②  多摩ランタンフェスタ
2026に参加
- ③  地域へ向けて体験の場を
さらに広げる

学校での学びを、地域へ広げる活動へ

まとめ

熱中症対策ゲームを通して、知識を行動になげる

1

熱中症は身近な危険



屋外だけでなく、室内や
車内でも起こります。
気温だけでなく、
湿度・日差し・体調にも
注意が必要です。

2

WBGTを確認する



暑さ対策では、気温だけでなく
WBGTも大切です。
危険度に応じて、休憩や
活動のしかたを変えることが
必要です。

3

ゲームで楽しく学ぶ



このゲームでは、
熱中症に関する正しい判断を、
楽しみながら体験的に
学ぶことができます。

4

学校から地域へ



学校での学びをもとに、
イベントや地域で体験の場を
広げ、熱中症対策を
多くの人に伝えていきます。

暑さを我慢せず、正しい判断で
自分と周りの人を守ろう

⚠️お願い⚠️

..... 事前・事後を問わず



SNSやWebサイト等への
発信・掲載はお控えください。



現地での使用のみ

をお願いいたします。

⌘ 本内容へのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。 ⌘